

記入例：装具を作成した場合

Table with columns for receipt date (受付年月日), year (年), month (月), day (日), and decision date (決裁年月日).

A 3サイズで印刷してください

Table with columns for payment period (支給期間), start date (至), year (年), month (月), day (日), and qualification loss (資格喪失).

療養費支給申請書

(第 回目)

Main application form with multiple sections: 被保険者証の記号・番号 (65, 1234567), 傷病名 (腓骨遠位端骨折), 発病又は負傷の原因 (クラブ活動中に転倒し骨折), 傷病の経過 (良好), 診療又は手当を受けた医療機関の名称・所在地及び医師の氏名 (XX病院, 山田 太郎), 診療又は手当の内容 (足首を固定するために装具を着用), 診療又は手当を受けた期間 (令和5年7月1日), 診療又は手当に要した費用の額 (20,000円), 療養の給付又は特定療養費もしくは家族療養費の支給を受けることができなかった理由 (装具購入のため), 第三者の行為による負傷であるとき, 被扶養者に関する申請のとき (大和 花美), 振込希望の金融機関名, 上記のとおり申請します.

(注意事項) 輸血及びコルセット等治療用装具に関する申請のときは、「医師の証明書」のほか、これに要した費用の「領収書」を添付して下さい。

被扶養者に関する申請の時は必ず記入してください。

事業主記入欄です。

領収（診療）明細書

(月 日から 月 日までの分)

Table with columns for patient name (患者名), reason for work (職務上の事由), work after 3 months (職務上・下船後 3月以内・通勤災害), injury name (傷病名), and treatment details (初診, 再診, 往診, 指導, 投薬, 入院).

委任状 (Power of Attorney) section with fields for principal (私は), agent (被扶養者), date (令和5年7月20日), and address (住所).

領収書 (Receipt) section with fields for amount (金額), date (平成 年 月 日), and recipient name (受領者 氏名).

(注意事項) 1. すでに領収書を発行しているときは、「領収」の字句を消して、「診療明細書」として下さい。 2. 歯科診療の場合は、別に領収（診療）明細書を作成して下さい。 3. 輸血及びコルセット等治療用装具に関する申請のときは、「治療のため必要と認める旨の証明書」を添付して下さい。この場合、左の領収（診療）明細書の記入は必要ありません。